

Contents



序文 3

Part 01

患者が描く歯列不正・不正咬合の治療のイメージ — 補綴か、矯正か —

患者が望む治療方法 — 補綴的なアプローチか矯正的なアプローチか — 8

Case Presentation 01 患者は1|1の正中離開に対する治療を希望したが、
具体的な治療方法については何も言及しなかった症例 9

Case Presentation 02 歯科医学的には矯正治療の適応と考えられる歯列不正・不正咬合で
あったが、患者が補綴的なアプローチを希望した症例 15

Case Presentation 02を矯正治療の視点から考える 23

Case Presentation 03 Case Presentation 02と歯列不正・不正咬合のタイプは
よく似ているが、患者は若年期に矯正治療を希望した症例 24

Case Presentation 04 患者は矯正治療が必要と考えていたが、エックス線画像検査の結果から
矯正治療は困難と判断しインプラントを用いた補綴的処置を選択した症例 32

Case Presentation 04を矯正治療の視点から考える 38

Case Presentation 05 患者の希望を叶えるには1|1の補綴のみでは限界があった症例 39

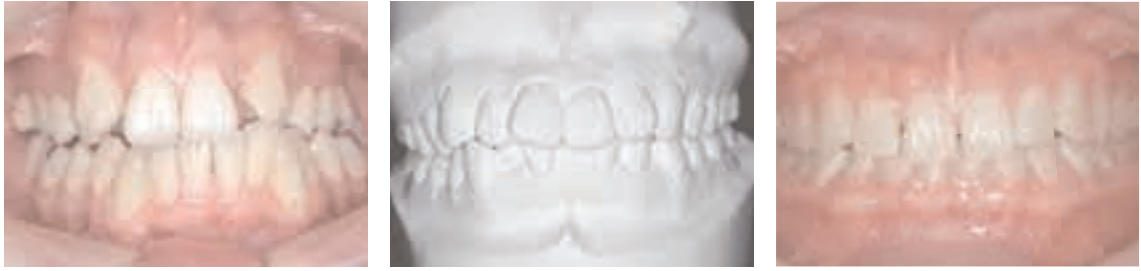
Case Presentation 06 患者のイメージする治療と実際に行うべき治療が大きく乖離していた症例 43



Part 02

補綴・矯正・ときに外科を手法として用いる咬合再構成治療

Chapter 01	小児，若年期の歯列不正・不正咬合の治療	54
Case Presentation 07	歯列の交換時期から咬合の管理を行い， 成人になる前の適切な時期に矯正治療を行った症例	58
Case Presentation 08	歯列の交換時期から咬合の管理を行い，成人になる前の適切な時期に矯正治療を 行い，さらに先天性欠如に対してインプラントを用いた補綴的処置を行った症例	62
Chapter 02	補綴学的な概念を加えた成人の歯列不正・不正咬合の治療	69
Case Presentation 09	咬合維持の症例	71
Case Presentation 10	上顎左右側切歯の先天性欠如とその部を補う再補綴治療希望の Skeletal Cl-I long faceに対して咬合修正した症例	80
Case Presentation 11	オーバージェットの大きい上下顎の空隙歯列弓を有する Skeletal Cl-I long faceの成人男子で多数歯の補綴処置前提の症例	90
Case Presentation 12	上下顎の抜歯後，インプラントを用いたクラウン・ブリッジ補綴と MTMを適用し，全顎的な咬合再構成治療を行った症例	102
Case Presentation 13	前歯部の被蓋の改善を目的とした咬合再構成症例	116



Chapter 03	咬合再構成時の顎位の確認・修正	127
Case Presentation 14	スプリントによる下顎位の修正後，矯正治療と補綴治療を併用した症例	136
Case Presentation 15	矯正治療後に左側顎関節部に関節雑音が発現し，スプリントによる下顎位の修正を行った症例	146
Case Presentation 16	スプリントでの顎位の修正がそのまま咬合再構成となった症例（目にみえない不正咬合の症例）	158
索引		166
著者略歴		170
Column 01	動的矯正治療終了後に生じた正中離開をアライナー矯正装置にて再治療した症例	30
Column 02	MTM(アップライト)近年は，こんな方法も(1)	78
Column 03	MTM(アップライト)近年は，こんな方法も(2)	79

イラスト：飛田 敏